

## 那賀高校森林クリエイト科3年生の工場見学をコーディネート

平成30年10月30日  
徳島森林管理署

徳島森林管理署では、平成28年4月に県立那賀高校に設置された「森林クリエイト科」への森林環境教育に取り組んでいます。具体的には、専門教科を補完する分野について、生徒が卒業するまでの3年間継続した支援となっています。これまで、森林の種類、森林のもつ公益的機能、森林施業、森林・林業を取り巻く状況など多岐にわたった講座を行ってきましたが、今回那賀高校からのリクエストを受け、木材加工施設見学を新たにカリキュラムに加えました。



(株)ゲンボクでは、丸太の見方についても学びました。

今回見学した工場は、(株)ゲンボクと(株)日新四国工場の2社です。(株)ゲンボクは、県内各地から生産されるスギを中心に年間1万m<sup>3</sup>取り扱う市売り市場ですが、工場内に端材やバークを原料としたバイオマス発電施設を整備し、年間約3,600m<sup>3</sup>木質バイオマス原料を消費しています。一方、(株)日新は年間約19万m<sup>3</sup>を消費する県内有数の合板工場です。実際の加工現場に接する機会の少ない生徒からは、「原料の丸太は四国圏から確保できていますか」「合板の強度を保つための工夫は」などといった質問がでるなど、生徒にとっては、貴重な1日になりました。



(株)日新四国工場の合板製造過程を見学

徳島森林管理署では、引き続き、那賀高校森林クリエイト科への森林環境教育をはじめ、様々な機関が取り組む人材育成施策を支援する活動を展開していきます。